

“世界寺子屋運動”名古屋実行委員会  
書き損じはがきキャンペーンのながれ

1 回収

みなさまから書き損じはがきをご寄付いただきます。



2 整理

(公財)名古屋国際センターの国際協力ボランティアがはがきを仕分けします。

3 交換

郵便局で切手やレターパックに交換します。



4 販売

切手やレターパックを企業や協力団体に購入してもらい、資金化します。



5 支援

(公社)日本ユネスコ協会連盟に送金し現地の識字教育を支援します。

世界寺子屋運動の資金作りのため切手・レターパックは“世界寺子屋運動”名古屋実行委員会でお求めください。



写真提供：(公社)日本ユネスコ協会連盟

2022.10

# “世界寺子屋運動”

ご協力ください！

## 受け付けています

- ・書き損じはがき(詳しくは裏面をご覧ください。)
- ・はがき、切手(未使用のものに限ります。)
- ・寄付金

### 寄付金の送付先

- ・郵便振り込み:00890-6-108490
- ・三菱UFJ銀行 名古屋駅前支店【普通】2137777
- ※口座名はともに「“世界寺子屋運動”名古屋実行委員会 今泉祐治」

## 東海ろうきんNPO寄付システムでも

毎月100円から口座振替で募金いただけます。  
お申込み、システムの制度に関するお問い合わせは東海ろうきん <https://tokai.rokin.or.jp/>

## 貸し出しています

- ・書き損じはがき回収箱
- ・はがきちゃん着ぐるみ
- ・展示パネルなど



キャンペーン  
マスコットキャラクター  
「はがきちゃん」



回収箱

書き損じはがき回収箱は、名古屋国際センターのほか郵便局、図書館、区役所などに設置しています。

書き損じはがきキャンペーンに関するお問い合わせは

## “世界寺子屋運動”名古屋実行委員会事務局

〒450-0001 名古屋市中村区那古野一丁目47番1号

(公財)名古屋国際センター内

TEL : 052-581-5691 FAX : 052-581-5629

E-mail : koryu@nic-nagoya.or.jp



## “世界寺子屋運動” 書き損じはがきキャンペーン

貧困、紛争、女の子だから・・・  
世界の成人のおよそ8人に1人は  
読み書きができません。



将来の夢は、お医者さんになってみんなの病気を治すことです。

1枚のはがきが、**未来**を変える

書き損じはがき

12枚で

1人が1か月間  
寺子屋で学べます

※カンボジアの場合  
(2026.1)

チェン・ランシンさん  
(カンボジア・11歳)

©NFUJ

“世界寺子屋運動”名古屋実行委員会



# “世界寺子屋運動”とは・・・

“世界寺子屋運動”は、国際識字年（1990年）をきっかけに（公社）日本ユネスコ協会連盟によって始められた運動です。書き損じはがきを集めて、世界の読み書き・計算ができない人々への「学びの場＝寺子屋」づくりをしています。

“世界寺子屋運動”では  
**現地の人々の自立につながる、  
 彼らのニーズを大切に支援活動を行っています。**



カンボジア・スニョオル寺子屋で学ぶ子どもたち  
 (2024.11.27 スタディツアー訪問時撮影)

寺子屋の建設

教材の提供



教師の育成・授業の運営



カンボジア・チョンクニア寺子屋の様子  
 (2024.11.27 スタディツアー訪問時撮影)

生活向上のための職業訓練

学校に通えない子ども 約2億7,200万人  
 読み書きのできない大人約7億3,900万人  
(公社)日本ユネスコ協会連盟HPより (2026.1)



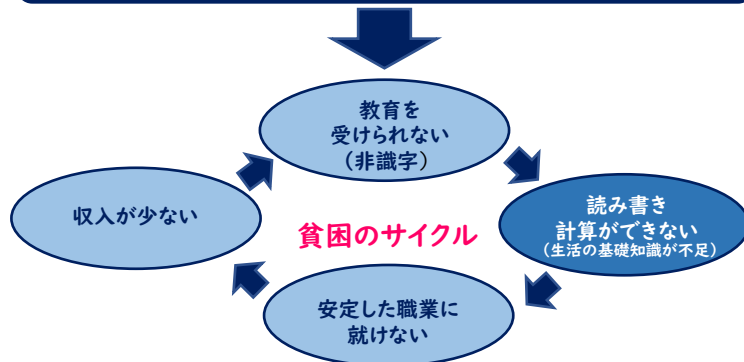
世界には戦争や貧困、女性であるという理由だけで、教育を受けられない人がいます。国際社会は、よりよい地球の未来を創るために「すべての人に教育をEducation for All」という目標を掲げ、特に初等教育の完全普及と女性の識字率向上を目指しています。

寺子屋で文字を学んだソバルさん。今では寺子屋の幼稚園の先生・図書館スタッフ運営委員です。

「29歳まで読み書きができませんでした、寺子屋での学びで、人生が大きく変わりました。」

## 学べない理由。学べない事情

近くに学校がない・貧しさ・紛争や戦争  
 農作業の手伝い・女の子に教育は不要という考え など



このような負の連鎖には「読み書き・計算ができない」ということに大きな原因があると考えられています。この悪循環を断ち切るひとつの方法が「教育」なのです。

## 書き損じはがきとは・・・

こんなはがきが役に立ちます!



国際協力のチャンスです! ※ポストに入れてないはがきに限りません

## みなさまに支えられて

書き損じはがきキャンペーンは、多くの市民のみなさまによって支えられています。はがきの寄付者として、ボランティアとして、あるいは切手の購入者として、キャンペーンにご協力いただくことで、私たちの支援活動を継続することができます。

今後とも“世界寺子屋運動”名古屋実行委員会をご支援くださいますようお願いいたします。

## “世界寺子屋運動”名古屋実行委員会 since 1990

これまでの実績

- ・1990年に、はがき1枚から誰でもできる国際協力として、書き損じはがきキャンペーンを開始しました。
- ・2025年3月末には、書き損じはがき回収累計約**510万枚**を達成しました!
- ・これまでにインド、カンボジア、ネパール、アフガニスタン、中国などの11か国22団体へ、総額およそ**1億8,844万円**の支援金を送りました。  
 (2026年1月現在、(公社)日本ユネスコ協会連盟“世界寺子屋運動”への継続的な支援総額が、**全国1位**)